

六ヶ所高レベル放射性廃棄物貯蔵管理センターに係る定期報告書
(令和6年9月及び令和6年度第2四半期報告)

2024再計発第228号
令和6年10月30日

青森県危機管理局
原子力安全対策課長
神 正 志 殿

日本原燃株式会社
専務執行役員
再処理事業部長
宮 越 裕 久

六ヶ所高レベル放射性廃棄物貯蔵管理センター周辺地域の安全確保及び環境保全に関する協定第11条第1項の規定に基づく細則第5条第1項の下記事項について別紙のとおり報告します。

記

1. 廃棄物（ガラス固化体）受入れ・管理数量及び主要な保守状況
2. 放射線業務従事者の被ばく状況
(四半期毎の報告月に限り記載する。)
3. 女子の放射線業務従事者の被ばく状況
(四半期毎の報告月に限り記載する。)
4. 放射性物質の放出状況
5. 放射性液体廃棄物の保管廃棄量
6. 放射性固体廃棄物の保管廃棄量

1. 廃棄物（ガラス固化体）受入れ・管理数量及び主要な保守状況（令和6年9月分）

1 ガラス固化体受入数量

| | |
|----|------------|
| 当月 | 0（本） |
| 累積 | 1 8 3 0（本） |

2 ガラス固化体管理数量

| | |
|----|------------|
| 当月 | 0（本） |
| 累積 | 1 8 3 0（本） |

3 主要な保守状況
定期事業者検査
実績なし

2. 放射線業務従事者の被ばく状況（令和6年度第2四半期分）（単位：人）

| | 放射線 業務従 事者数 | 線量（mSv）区分別放射線業務従事者数 | | | | | |
|-------|-------------------|---------------------|--------------|---------------|---------------|---------------|--------------|
| | | 5以下 | 5を超え 15以下 | 15を超え 20以下 | 20を超え 25以下 | 25を超え 50以下 | 50を超え るもの |
| 当該四半期 | 460 | 460 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 年度 | | | | | | | |

（注1） 5 mSv以下については、被ばく線量が検出限界未満の放射線業務従事者を含む。

（注2） 四半期毎の報告月に限り記載する。（年度については第4四半期に限り記載する。）

3. 女子の放射線業務従事者の被ばく状況（令和6年度第2四半期分）（単位：人）

| 放射線業務従事者数 | 3月間の線量（mSv）区分別放射線業務従事者数 | | | |
|-----------|-------------------------|-------------|-------------|-------------|
| | 1以下 | 1を超え 2以下 | 2を超え 5以下 | 5を超え るもの |
| 27 | 27 | 0 | 0 | 0 |

（注1） 1 mSv以下については、被ばく線量が検出限界未満の放射線業務従事者を含む。

（注2） 妊娠不能と診断された者及び妊娠の意思のない旨を書面で申し出た者を除く。

（注3） 四半期毎の報告月に限り記載する。

4. 放射性物質の放出状況（令和6年9月分）

（単位：Bq/cm³）

| 放射性廃棄物の種類 | | 測定の箇所 | 平均濃度 |
|-----------|----------|-------|------|
| 気体 | 放射性ルテニウム | 排気口 | N D |
| | 放射性セシウム | 排気口 | N D |

（注）N Dは、検出限界未満を示す。

5. 放射性液体廃棄物の保管廃棄量（令和6年9月分）

（単位：m³）

| 放射性廃棄物の種類 | 当該期間の保管廃棄量 | 累積保管廃棄量 |
|-----------|------------|------------|
| 液体 | 0 | 2. 8 0 0 ※ |

6. 放射性固体廃棄物の保管廃棄量（令和6年9月分）

（単位：本）

| 放射性廃棄物の種類 | 当該期間の保管廃棄量 | 累積保管廃棄量 |
|-----------|------------|---------|
| 固体 | 0 | 1 1 5 6 |

（注）六ヶ所廃棄物貯蔵管理センターから発生した放射性固体廃棄物の量を200リットルドラム缶に換算した本数で示す。

※計器校正による数量減少（0. 0 1 0 m³）